

# 心のコラム⑨

## ～新型コロナウイルスについて～

2021. 1. 22

文責：道徳担当

### 感染症から生まれる差別・偏見を

### どうなくしていくかを考える授業をおこないました

新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、学校を含めた日常の生活にも、一部に制限があったり、新しい工夫が求められたりする状況が続いております。今までとは違う生活形式に変化していく中で、感染症に対する不安や感染者などへの差別・偏見などが社会問題となっているのも事実です。

学校でも、感染予防を続けていきますが、新型コロナウイルス感染症には誰もがかかる可能性があることを前提に、身近な誰かが感染してしまったことを考慮した対応も必要となってきています。

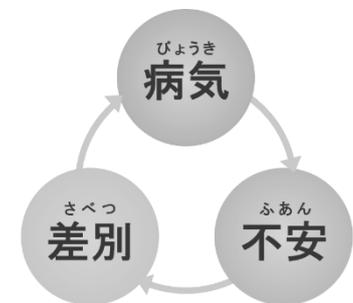
そこで今回、日本赤十字社監修の「新型コロナウイルスがもたらす3つの”感染症”」の考え方をもとに、新型コロナウイルス感染症に関する差別・偏見について考える授業を実施しました。



### 3つの“感染症”とは？

- ① “病気”そのものの感染症
- ② “不安”という気持ちの感染症
- ③ “差別・偏見”という意識の感染症

この3つの感染症が負のスパイラルとしてつながることで、さらなる感染拡大や、社会問題の深刻化へとつながっていきます。



Check

### 負のスパイラルを断ち切るためにできること

- ① ウイルスの感染をひろげないために…  
まずは 手洗い・咳エチケットの徹底、3密を避け、自分自身の感染症予防を徹底しておこなう。
- ② 不安にふりまわされないために…  
情報源のはっきりしないうわさ話はしない・広げないこと
- ③ 差別や偏見をひろげないために…  
言い出しにくい空気をつくらないこと



今回の授業でお子さんたちが視聴した動画をこちらで限定公開しています。ぜひ、おうちのかたもご覧になっていただき、感染症に関わる社会問題についてご家庭でも、話し合ってみてください。

文科省公式



低学年では、新型コロナウイルスに感染して入院していたAくんが、学校に戻ってきた時、どんな声をかけるかを考えました。



Aくん、おはよう。ひさしぶり。きょういっしょにあそぼうよ。みんなまってるよ。(1年)

なおってよかったね。あいたかったよ。やっといっしょにあそべるね。こわかったよね。つらかったね。がんばったね。(1年)

せっかくみんな来たんだし、いっしょにあそぼうよ。コロナもなおったからよかったね。(1年)

おかえりAくん。げんきをだして、いっしょにこれからもあそぼう。(1年)

Aくん、だいじょうぶだよ。みんなまっていたんだよ。コロナはせかい中どころがっているから、Aくんだけじゃないよ。みんなわかっているからね。手あらいやいろいろしているけど、どうしてもなりたくない人もなるときがあるからね。(2年)



### 授業を受けた子どもたちの声(低学年)

- これからは、さべつとかうわさを広げない。なりたくてなったんじゃないからです。(2年)
- 一ばんだいじなことは、あったかいことばを言って、わる口を言わないこと、コロナにかからないことです。(2年)
- 差別を生まないために、人の気持ちを考える。言い出しにくい空気をなくし、言うことはしっかり言う。コロナにかかった人をおうえんすればいいと思いました。(3年)
- 家族や他の子が新がたコロナウイルスではないか不安です。家族や他の子に自分が新がたコロナウイルスをうつさないか心ばいです。(3年)
- 差別を生まないために、まずは自分が差別をしない。休んだ人のことを考えて、うわさ話をしない。その人をさけたりしない。わからないのに勝手なことを言わない。(3年)

**STOP!**

さべつ

**コロナ差別**

かのうせい  
コロナウイルスは、だれでもかかる可能性が**あります**。

へんけん さべつ おも たいせつ  
偏見や差別をやめて、思いやりを大切にしましょう